

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0572808749		
法人名	株式会社 アキタニット		
事業所名	グループホームしゃくやく		
所在地	秋田県湯沢市小野字諏訪23-6		
自己評価作成日	平成27年8月28日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.akita-longlife.net/evaluation/">http://www.akita-longlife.net/evaluation/</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	平成27年10月14日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご本人の思いに寄り添い、家庭的な環境の中で、穏やかに安心して毎日が過ごせるよう、ご家族から生活歴について伺ったり、好みのものを教わりながら、一緒に生活を楽しむよう努めております。居室の広さは10畳もあり、なじみのある家具や思い出の品を持ち込んでいただき、今までの生活スタイルが継続できるように相談しながら対応しております。畑の作業、ご家族様との交流行事、季節ごとの外出行事もあり、地域交流しながら、気分転換をはかり、一緒に楽しめる場面を大事にしております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者の能力に応じてできることを探し、一人ひとりに合ったサービス提供をされています。1~3号館合同会議で研修報告や意見を出し合う機会を設け、また、様式を変更して記録のし方を工夫されて、今後も試行錯誤しながら取り組んでいこうとされており、職員のケアに対する意識向上にもなっていると思われます。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~53で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
54	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	61	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
55	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	62	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
56	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	63	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
57	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
58	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
60	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に基づいて、ケアの統一をはかり、ユニット毎に毎月目標設定することにより、振り返りながら実践するように努めている。	理念は簡潔に表現されており、毎月具体的な目標を設定して実践に繋げています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	買い物、散髪、美容院等、地域の資源を活用したり、地域の文化活動等へ参加をしたりしている。運営推進会議等で、協力を呼びかけたり、情報交換をさせていただいている。	地域のクリーンアップに参加したり、運営推進会議で情報収集し、可能な限り利用者が地域と繋がりが持てるように支援されています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	運営推進会議での情報共有や、地域向け広報で、認知症の理解を深められるような活動を行っている。地域ケア会議では、認知症ケアパス作成に協力を行った。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方々へ情報公開に努め、入居者様の状況や行事等の報告後、毎回話し合いのテーマを決めて、グループホーム(認知症)についての理解が進むように努めている。	ホームの現況を報告して質疑応答されており、協力を呼びかけながら運営に反映できるように取り組まれています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	包括や在介担当者と連携し、困難事例について相談をしたり、地域ケア会議、認知症ケアパス作成会議へ参加し、協力関係を築くよう努めている。	生活保護受給者が入居されており、福祉事務所職員との話し合いや各種の会議に参加して協力関係を築いています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束しないケアを徹底し、行動を制限せず、寄り添うケアが提供できるよう取り組んでいる。ミーティングの勉強会等で、ケアを見つめなおす機会をもちながら、日々の業務に取り組んでいる。	新任職員へは見本を見せながら理解に繋がっています。勉強会を通じて、また、業務中に気づくこと等を注意しながら拘束をしないケアに取り組まれています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティングで勉強会を行ったり、虐待を見逃さないよう、職員間で情報共有をし、申し送り等を充実させながら、防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業を利用されている方はいるが、支援時の対応はできても、詳しい内容について理解できていない。権利擁護について理解を深められるよう研修会等実施したい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、丁寧な説明を心がけ、理解していただくように努めている。また、見学等もすすめ、グループホームを理解していただいたうえで入所ができるよう配慮している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族とは、面会や電話等で、コミュニケーションをはかり、要望にはすくに対応できるよう心がけている。また、玄関へご意見箱を設置しているが、活用できていない。	家族が面会に来られた際には十分に話しを聞く時間を持ち、要望等の引き出しに努めて運営に反映させるようにしています。職員間の連絡ノートを活用し、情報を共有しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	連絡ノートを活用し、意見をまとめ、連絡調整会議で取り上げて、話し合うように努めている。また、グループミーティング等で、伝達したり、意見聴取する機会をつくっている。	職員同士のコミュニケーションが良く図られ、意見や提案は連絡調整会議で諮られている他、代表も職員と話をする機会をつくって反映させています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年間目標(個人)をたて、それに向かって頑張れるように、声掛けしている。夜勤手当の改正や昇給、資格手当など、能力に合わせて検討してくれている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個人の力量に合わせた研修等を選んで、受講できるような体制を作っている。また、受講費を助成していただいたり、資格取得への協力体制ができている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホームの管理者間の交流があり、情報交換を行なっている。勉強会や相互訪問等活動できるよう、現在検討していく予定がある。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様とじっくりコミュニケーションをはかり、よい関係が作れるよう努めている。また、生活層を把握し、なじみの暮らしが継続出来るようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の思いを受け止め、要望にはできる限り応えるように努め、よい関係を築くように心がけている。		
17		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様と行動を共にし、一人ひとりの力量に合わせたできることを促し、継続できるよう配慮している。家事作業は、一緒に行うようにし、失敗等のないように見届けている。		
18		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会や通信等で、生活状況を伝え、一緒に支えて行けるような関係作りを心がけ、ホームの行事へも積極的に参加していただき、交流するように努めている。		
19	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人、親類等に面会に来たいと思っていただけるように対応を努め、今までの関係性が途切れないよう配慮している。面会の機会があった際は、居室で、ゆっくりと過ごせるような雰囲気作りに努めている。	家族と出かけたり、馴染みの美容院の利用や電話での交流等、利用者にとって大切にしてきたことが継続できるように努力されています。	
20		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様間の関係性を見守りながら、一緒に作業したり、話ができるように間に入ったり、話題提供を促したりしている。支えあうような関係性となるよう、協力できるような活動を促したりしている。		
21		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も入居者様のご家族より野菜をいただいたり、施設に面会に行ったり、ご家族の相談にのる場面もある。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
22	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いに寄り添いながら、支援するように努めている。思いを否定せず、ご本人の希望に添った支援を心がけている。	利用者の思いを日々の暮らしの中で聞き、困難な場合は、状況をよく観察して介護計画の見直しに繋げています。記録のし方を検討し、状況把握がより良くできるように様式が変更されています。	
23		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人の思いに耳を傾けながら、昔の話を伺ったり、生活歴の把握に努め、その人らしい生活ができるように努めている。		
24		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	センター方式を活用し、一人ひとりの状況把握に努め、個人ケース、業務日誌を活用し、申し送り時に情報交換に努めている。情報共有に努め、統一したケアを目指している。		
25	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族様のご意見を伺い、担当ごとにモニタリングを行い、ケース検討を行ってから、介護計画を作成している。	担当職員のモニタリング、カンファレンスでの話し合いによって利用者、家族の意向が反映された介護計画が作成されています。	
26		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ケース、業務日誌の活用し、気づきや工夫しながら、申し送り時に情報交換を行い、介護計画の見直し等に活かしている。		
27		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の把握に努め、継続した関わりができるように、理解協力を求め、入居者様の思いに添った支援ができるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	大半の方が協力医の往診を受けながら、安心して生活することができている。また、希望の医療機関で受診している方は、ご家族の協力を得ながら診察を受けることができている。	かかりつけ医の往診や希望する医療機関への受診に対応され、適切に支援が行われています。	
29		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	今後予想される重度化に対してターミナルケアも行えるよう、看護師との連携について、医療連携の体制を整えた。充実した支援の実現にむけて、対応しているところである。		
30		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、病院へ面会へ行き、ご本人やご家族と交流しながら、安心できるよう努めている。また、医療機関関係者へ相談したり、情報交換したりしながら、面会やカンファレンス等で、ご本人の状況を伺い、退院時の支援を早期に検討を行うように努めている。		
31	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化に向け、早めに家族へ状況を伝え、主治医と相談し、終末期の支援の方向性を話し合うように努めている。また医療連携体制も整備され、重度化への対応も、以前よりも連携が取れやすい状況になったので、出来る限り取り組んでいきたい。	終末期に対する研修を受講し、今後に備えて対応できるようかかりつけ医とも連携して体制を整えています。	
32		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時に備え、応急手当講習や、避難訓練等、定期的に行っている。回数を増やし、実践できるよう訓練していきたい。		
33	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	非常口の開錠訓練、避難訓練等で、誘導方法を身につけるように努めている。地域との連絡網や、協力体制が築けるよう、運営推進会議等で話し合っている。	スムーズに非常口の開錠ができるよう操作訓練を毎月行い、緊急時に対応できるように取り組まれています。地域との協力体制についても引き続き運営推進会議で話し合われています。	避難経路を確保し、職員及び利用者が安全に避難できるよう検討されることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
34	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声のトーンに注意し、強い言動にならないよう心がけている。排泄時の声かけや、難聴者への配慮を今後とも継続支援していく必要がある。	一人ひとりの性格や状態に配慮した声かけ等、利用者が職員の言動を見ていることを意識して対応されています。	
35		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	分かる言葉やしぐさで説明し、ご本人のペースに合わせた支援を心がけている。また、ご本人の思いに寄り添い、出来る限り自己決定できる場面を作るよう心がけている。		
36		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務優先にならないように、本人らしく過ごせるよう、一人ひとりのペースに合わせた支援を心がけている。		
37		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	白髪染めや化粧を支援したり、必要物品の購入等の代行も行っている。整容面への配慮を行い、清潔に過ごしていただけるように努めている。		
38	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事準備や片づけを、できることを活かしてもらいながら、一緒に行っている。また、外出時は、食べたいものを選んで食べられるようにしたり、誕生日には好きな物を準備させていただいている。	誕生日や毎日の食事に利用者の好みや力が活かせるよう支援されています。毎年行われる夕涼み会には家族を招待して行われ、誕生日には家族も一緒にお祝いされています。	
39		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ケース記録で把握し、情報共有し、ご本人の好みに合わせた代替食等の支援も行っている。		
40		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	週2回の義歯洗浄や、歯科医による口腔ケア研修や指導をいただきながら、一人ひとりの状況に合わせた口腔ケアの方法の支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	センター方式の用紙を活用しながら、ご本人のペースに合わせて、排泄の声掛けや支援を行っている。また、ご本人が不安にならないような対応を心がけ、さりげない誘導等を行っている。	記録することで一人ひとりのパターンを把握し、トイレでの排泄を支援されています。	
42		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜やきのこなどの繊維の多い食材の使用を心掛けたり、水分摂取を勧めたり、予防に努めている。調整が難しい場合は、下剤を調整して対応している。		
43	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	バイタル測定を行い、健康状態を見ながら、一人ひとりの希望に合わせた支援を心がけている。ほとんどの方が、一日おきに入浴することができている。	希望に応じた支援ができるよう対応されています。拒否される方には誘い方等を工夫し、入浴していただいています。	
44		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	疲れを溜めないように、適度な休養を促しながらも、日中の活動を増やして、夜間良眠できるように努めている。		
45		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理表やお薬手帳で確認しながら、内容を把握するように努めている。また薬剤師の協力により、不明な点は、説明していただいたりしている。		
46		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの力量に合わせて、役割を話し合い、継続できるよう支援している。また、居室で趣味活動をしたり、買い物へ同行したり、気分転換することができている。		
47	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族の協力により、外出や外泊ができている方もいる。ホームでの行事で、買い物や催し物へ外出したり、気分転換できるように努めている。	ホームの農園が敷地外にあるため畑作業には車で出かけています。買い物に誘ったり、ドライブや外食等を企画し、外気に触れる機会をつくっています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	必要な物品の購入については、ご本人の要望に応えながら、代行して購入し、代金を精算するようにし、現金等の管理を統一している。		
49		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望により、電話をかけたり、支援することができる。		
50	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	換気に努め、湿度を保つ為に、洗濯物を干したり、工夫をしている。また季節感を感じられるよう、装飾に気遣いをするように努めている。季節感をあじわっていただくため、レクで折り紙製作を行い、居室に飾ったりしている。	広いホールには、食堂テーブルの他にテレビを見ながら寛げる畳スペースが設けられています。廊下の洗面所前に順番待ちの長椅子が置かれ、利用者の動線に配慮した十分な広さが確保されています。	
51		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	仲のよい入居者様同士、居室の往来があったり、ソファーに座り、テレビを観たり、会話を楽しむ場面もあり、関係性を見守っている。		
52	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の使い慣れた家具等を持ち込んでもらい、思い出のアルバムや本などを身近に置きながら、穏やかに安心して過ごせるよう支援している。	中央に6畳の畳を配置し、クローゼットも付いて有効に活用できる広さがあり、仏壇や使い慣れたものを持ち込み、安心して暮らせる造りとなっています。	
53		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや食堂等わかり易く表示し、出来る事を見極めながら、見守り、自立した生活ができるように努めている。手すりやセンサーを活用し、安全面にも配慮している。		